

令和7年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%				○	

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%	○				
話すこと・聞くこと	66.3%				○	
書くこと	69.5%			○		
読むこと	57.5%				○	

【考 察】

- 学年別配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことができてきました。今後も、言葉の特徴や使い方を意識させながら指導していきます。
- 「我が国の言語に関する事項」のみが、全国平均を下回りました。問題から分析すると、自分の生活以外で使う言葉に触れていないことがうかがえます。多くの知識を得るために、視覚的効果の高いタブレット等は日常的に使用している子どもたちですが、文章から得る言葉、知識、想像を膨らませる力などを身につけさせていく必要があると感じました。読書量を増やせるように努めています。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%			○		
変化と関係	57.5%			○		
データの活用	62.6%				○	

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、特に全国平均を上回っていました。数直線上に示された数を正しく分数で表記することができてきました。知識・技能がよく身についているので、今後も計算力及び内容を理解する力が確実に高まるよう継続して指導していきます。
- 「変化と関係」では、思考力・判断力・表現力を問われる、「記述の問題」に課題が見られました。答えを求めるだけでなく、答えを求めるまでの過程が大切であることを理解させ、具体的に考えたり、説明したりできるように授業の中で取り組んでいきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%	○				
粒 子	51.4%				○	
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 生命の領域では、ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が、確実に身についていました。授業の中で、実感を伴った理解ができるよう、今後も工夫して取り組んでいきます。
- エネルギーの領域、「電気の回路」について、「実験の方法を想像し、表現することができるか」という部分に課題が見られました。「予想を立て、適切な方法を考え、実際に実験を行い、結果を考察して、表現する」という力は、電気の回路だけでなく、他の単元や領域でも必要な力なので、日々の授業で意識しながらその力を身につけさせていきます。